



おしえて!
宮本さん

ダムで命と清流は守れるの?

国交省元防災課長が答えます

ズバリ
お答え!



国土交通省と熊本県は流水型ダム建設にまい進していますが、流域住民のダムに対する疑問は置き去りにされたままです。「ダムがあれば命は守れるの?」「ダムができて清流は残せるの?」などの私たちの疑問に対して、国や県からは納得のいく説明はありません。

今回、国交省職員として各地の工事事務所所長や河川部長、防災課長を歴任された専門家で、自身が発足させた淀川水系流域委員会では、徹底した住民参加と情報公開を進め、「ダムは原則建設しない」との提言をとりまとめたことで知られる宮本博司さんに、私たちの疑問にお答えいただきます。

また現在、問題になっている人吉市災害公営住宅や瀬戸石ダム問題、五木村の方の声にも耳を傾けながら、どのような連携ができるのか考えます。



日時

2024年1月20日(土) 14時~16時30分

場所

人吉市カルチャーパレス 小ホール および Zoomオンライン

(人吉市下城本町1578-1 TEL: 0966-24-3311 裏面地図参照)

熊本・八代市内より直行バスあり 裏面参照

オンライン申込

右のQRコードまたは
<https://kawabegawa.jp/>



講演会サイト

参加費

500円

ゲスト

宮本博司さん (元国土交通省防災課長)

1952年京都生まれ。京都大学大学院修士課程土木工学専攻修了。1978年に旧建設省に入り、技官として河川行政一筋に取り組む。河川開発課課長補佐などを経て、苫田ダム、長良川河口堰を担当。その後、国交省近畿地方整備局淀川河川事務所長として淀川水系流域委員会の立ち上げに尽力。同局河川部長をへて本省河川局防災課長を最後に2006年退職。淀川水系流域委員会には一市民として応募し委員長に就任。現在、株式会社樽徳商店代表取締役参与。



主催
お問合せ

川辺川現地調査拡大実行委員会

Tel.090-2859-5520 (人吉/本村) Tel.090-9561-8733 (八代/光永)

Tel.080-3999-9928 Email tsuchi_tk@yahoo.co.jp (熊本・全体/土森)

会場へのアクセス

人吉市カルチャーパレス 小ホール

熊本県人吉市下城本町1578-1
TEL: 0966-24-3311



熊本・八代市内より直行バスあります

講演会開催に合わせ、熊本市と八代市から会場までの臨時の直行バスを運行します。予約申込が必要です。



- 料金 (お一人様往復):
熊本市内 / 2,000円
八代市内 / 500円

熊本市内からの場合
大学生以下の方の料金は
無料です

- ご利用には予約申込が必要です。
詳細は下記までお問い合わせ下さい。
(熊本市内 / 土森) TEL: 080-3999-9928
Email: tsuchi_tk@yahoo.co.jp
(八代市内 / 光永) TEL: 090-9561-8733

お誘い合わせの上
どうぞご参加ください



川辺川ダム問題は今

1966年に発表された川辺川ダムは、市民による強い反対の声や地元自治体首長の意向を受け、2008年に県知事が「球磨川は県民の宝」としてダム反対を表明。翌2009年には、国も正式に中止を発表した。

しかし2020年7月の球磨川豪雨後、国交省と県は、災害の検証もそこに「命と環境を守る唯一の選択肢」として、治水専用の流水型(穴あき)ダムに変更し、再びダム計画を復活。現在、関連事業や環境アセスメント手続きなどが進んでいる。

【参考サイト】

<https://kawabegawa.jp>
<https://tewatasukai.com>



SNSでも随時情報発信中
川辺川を守る県民の会、手渡す会の
Facebookもぜひフォロー下さい。

球磨川流域と川辺川ダム予定地

